

## 第2回 ゲノム病理標準化講習会プログラム

日時：平成31年2月17日（日）

場所：東京大学医学部 教育研究棟 鉄門記念講堂

受付開始		9:00～
1. 開会の挨拶		9:30～9:35
	日本病理学会 理事長	北川昌伸
2. 講義		
1) ゲノム研究・医療に対応する病理検査室の整備と運用： ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程第1部の解説： 研究用病理組織検体の適切な採取部位		9:35～10:35
	九州大学医学部医学研究院 形態機能病理学	小田義直
	九州がんセンター 病理診断科	田口健一
2) ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程第2部の解説： 凍結組織検体採取・保管・移送方法		10:35～11:35
	慶應義塾大学医学部 病理学教室	金井弥栄
	— 昼食 —	11:35～12:45
3) ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程第3部の解説： ホルマリン固定パラフィン包埋標本の適切な作製・保管方法		12:45～13:45
	慶應義塾大学医学部 病理学教室	金井弥栄
4) バイオバンク構築の基礎		13:45～14:15
	京都大学医学部 創薬医学講座	鶴山竜昭
	— コーヒーブレイク —	14:15～14:30
5) ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程の解説		14:30～15:30
	北海道大学病院 ゲノム・コンパニオン診断研究部門	畑中 豊
6) 認定病理検査技師の役割		15:30～16:00
	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	滝野 寿
3. 閉会の辞：受講証配布		16:00～16:15